

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和6年1月30日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を追加または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

()

問題2 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法)

()

問題3 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業者に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題4（運転者等台帳）

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題5（過労運転等の防止）

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題6（点呼等）

貨物自動車運送事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者等ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題7（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題8（事故の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を本社において3年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題 9 (最低速度)

自動車は、法令の規定によりその速度を減ずる場合及び危険を防止するためやむを得ない場合を除き、高速自動車国道の本線車道(政令で定めるものを除く。)においては、道路標識等により自動車の最低速度が指定されている区間にあつてはその最低速度に、その他の区間にあつては政令で定める最低速度に達しない速度で進行してはならない。(道路交通法)

()

問題 10 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 11 (定義)

私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律において「私的独占」とは、事業者が、単独に、又は他の事業者と結合し、若しくは通謀し、その他いかなる方法をもつてするかを問わず、他の事業者の事業活動を排除し、又は支配することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 12 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が疾病により安全な運転ができないおそれがある状態で事業用自動車を運転することを防止するために必要な医学的知見に基づく措置を講じなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 13 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から十五日前までに、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更するときも同様である。(道路運送車両法)

()

問題 1 4 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあつては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 5 (停車又は駐車の方法)

車両は、人の乗降又は貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。(道路交通法)

()

問題 1 6 (届出)

一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合には、許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に対し、遅滞なく届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

()

問題 1 7 (解雇制限)

使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後六十日間並びに産前産後の女性が第六十五条の規定によって休業する期間及びその後六十日間は、解雇してはならない。(労働基準法)

()

問題 1 8 (健康診断)

事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断を行うよう努めなければならない。(労働安全衛生法)

()

問題 1 9 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

連続運転時間(一回が連続十分以上で、かつ、合計が三十分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。)は、四時間を超えないものとする。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

()

問題 20 (事業計画)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

()

II. 次の問題 21 から問題 26 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 21 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

① 事業報告書 ② 事業実績報告書

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年5月31日まで
- イ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年7月10日まで
- ウ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年5月31日まで

① ()

② ()

問題 22 (事業計画の変更の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業法施行規則で定める軽微な事項に関する事業計画の変更をしたときは、遅滞なくその旨を、国土交通大臣に届け出なければならないが、その軽微な事項に関する事業計画の変更該当するものを次のア～ウから1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 主たる事務所の名称及び位置の変更
- ウ. 自動車車庫の位置及び収容能力の変更

()

問題 2 3 (運転者)

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を遵守しなければならないこととなっているが、正しい事項をアからウより 2 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。
 - イ. 運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること。
 - ウ. 疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出ること。
- () ()

問題 2 4 (停車及び駐車を禁止する場所)

法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため一時停止する場合を除き、停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを 2 つ選び () に記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 交差点の側端又は道路の曲がり角から 5 メートル以内の部分
 - イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に 10 メートル以内の部分
 - ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から 15 メートル以内の部分 (当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
 - エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に 10 メートル以内の部分
- () ()

問題 2 5 (交通事故の場合の措置)

交通事故があった場合に、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに車両等の運転を停止して講じなければならない措置として規定されているものはどれか、次のア～ウの中から選び () 内に記号で記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 事故の発生を運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
 - イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
 - ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること
- ()

問題 2 6 (掲 示 事 項)

一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない事項について、正しいものを 2 つ選び、() に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運送約款
- イ. 営業所名
- ウ. 運行系統
- エ. 役員名簿

() ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和6年1月30日)

申請者名 (法人名) _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を追加または省略している場合があります。

I. 次の問題1から問題20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (安全衛生教育)

事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。(労働安全衛生法)

(○)

問題2 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送(自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。)を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題3 (過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送の防止について、運転者、特定自動運行保安員その他の従業者に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題4（運転者等台帳）

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ × ）

問題5（過労運転等の防止）

運行管理者は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ × ）

問題6（点呼等）

貨物自動車運送事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者等ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、1年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ○ ）

問題7（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。（貨物自動車運送事業法）

（ × ）

問題8（事故の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を記録し、その記録を本社において3年間保存しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ × ）

問題 9 (最低速度)

自動車は、法令の規定によりその速度を減ずる場合及び危険を防止するためやむを得ない場合を除き、高速自動車国道の本線車道（政令で定めるものを除く。）においては、道路標識等により自動車の最低速度が指定されている区間にあつてはその最低速度に、その他の区間にあつては政令で定める最低速度に達しない速度で進行してはならない。（道路交通法）

(○)

問題 10 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が、程度の大小にかかわらず事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

(×)

問題 11 (定義)

私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律において「私的独占」とは、事業者が、単独に、又は他の事業者と結合し、若しくは通謀し、その他いかなる方法をもつてするかを問わず、他の事業者の事業活動を排除し、又は支配することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）

(○)

問題 12 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が疾病により安全な運転ができないおそれがある状態で事業用自動車を運転することを防止するために必要な医学的知見に基づく措置を講じなければならない。（貨物自動車運送事業法）

(○)

問題 13 (選任届)

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から十五日前までに、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。これを変更するときも同様である。（道路運送車両法）

(×)

問題 1 4 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあつては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 5 (停車又は駐車の方法)

車両は、人の乗降又は貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。(道路交通法)

(○)

問題 1 6 (届出)

一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合には、許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に対し、遅滞なく届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

(○)

問題 1 7 (解雇制限)

使用者は、労働者が業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後六十日間並びに産前産後の女性が第六十五条の規定によって休業する期間及びその後六十日間は、解雇してはならない。(労働基準法)

(×)

問題 1 8 (健康診断)

事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断を行うよう努めなければならない。(労働安全衛生法)

(×)

問題 1 9 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

連続運転時間(一回が連続十分以上で、かつ、合計が三十分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。)は、四時間を超えないものとする。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

(○)

問題 20 (事業計画)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

(×)

II. 次の問題 21 から問題 26 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 21 (事業報告書及び事業実績報告書)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

① 事業報告書 ② 事業実績報告書

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年5月31日まで
- イ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを毎年7月10日まで
- ウ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年5月31日まで

① (エ)

② (イ)

問題 22 (事業計画の変更の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、貨物自動車運送事業法施行規則で定める軽微な事項に関する事業計画の変更をしたときは、遅滞なくその旨を、国土交通大臣に届け出なければならないが、その軽微な事項に関する事業計画の変更該当するものを次のア～ウから1つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 主たる事務所の名称及び位置の変更
- ウ. 自動車車庫の位置及び収容能力の変更

(イ)

問題 2 3 (運転者)

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を遵守しなければならないこととなっているが、正しい事項をアからウより 2 つ選び、() 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。
- イ. 運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること。
- ウ. 疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出ること。

(ア) (ウ)

問題 2 4 (停車及び駐車を禁止する場所)

法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため一時停止する場合を除き、停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを 2 つ選び () に記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 交差点の側端又は道路の曲がり角から 5 メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に 10 メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から 15 メートル以内の部分 (当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に 10 メートル以内の部分

(ア) (エ)

問題 2 5 (交通事故の場合の措置)

交通事故があった場合に、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに車両等の運転を停止して講じなければならない措置として規定されているものはどれか、次のア～ウの中から選び () 内に記号で記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 事故の発生を運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
- イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
- ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること

(ウ)

問題 26 (掲示事項)

一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない事項について、正しいものを2つ選び、() に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 運送約款
- イ. 営業所名
- ウ. 運行系統
- エ. 役員名簿

(ア) (ウ)

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和6年1月	4	3

合格率 75%